

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	富士通インターコネクトテクノロジーズ株式会社					
代表者名	氏名	三好 清司	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県長野市大字北尾張部36番地					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業				
主たる事業の概要	プリント基板加工					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2135	2070	2185	2130	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	4508	4393	4614	4489	
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0	0	
自動車の台数	台	6		6	6	
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	54				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 30 年度
--------	----------

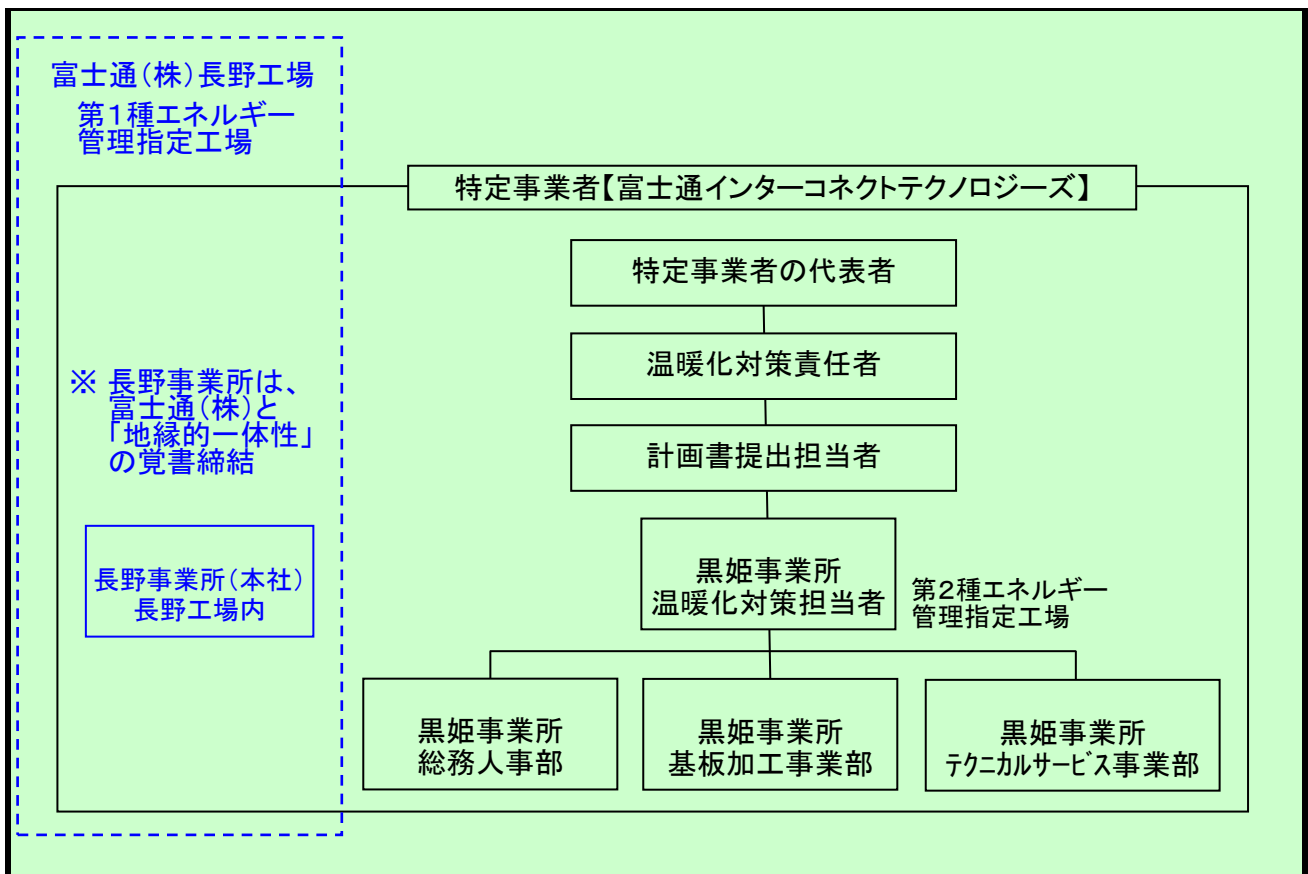
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	印刷物（紙媒体）にて計画書・報告書の公開 ■ 対応窓口：黒姫事業所総務人事部 ■ 閲覧時間：10:00～15:00 ■ 閲覧場所：黒姫事業所商談ルーム ■ 電話番号：026-255-3050（代表）
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

環境マネジメントシステムを通して、法規制の遵守・環境対応商品の開発/促販・省エネルギー・廃棄物削減・重点化学物質の排出削減・社会貢献等に取り組み、生物多様性の保全に努める。

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・環境推進委員会 (年2回開催)
- ・省エネ検討会議 (随時)

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4,508	t-CO <sub>2</sub>	付加価値生産額	1,688.20	単位	百万円	
28年度	調整後排出量	4,476	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	2.67	t-CO <sub>2</sub> /	百万円	
目標年度	目標排出量	4,393	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	2.59	t-CO <sub>2</sub> /	百万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	2.55	%	目標削減率	2.97	%		
目標設定に関する説明	基準年度に対し排出抑制目標達成のための具体的な措置の確実な実施により目標削減率2.55%の目標とした。原単位については、3年間で3%削減を目標とした。電気需要の平準化、ピークカット対策とともに取り組みを進めていく。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	4,614	t-CO <sub>2</sub>	付加価値生産額	1,792.60	単位	百万円	
	調整後排出量	4,573	t-CO <sub>2</sub>	原単位	2.57	t-CO <sub>2</sub> /	百万円	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	(2.36)	%	削減率	3.74	%		
排出量等の増減理由	排出量については、主に基板部門の生産設備増設に伴い排出量増加となった。原単位については、付加価値生産額(生産量)が増加し効率の良い設備運転ができたこと及び省エネ諸施策の効果により改善した。							
第二年度	排出量	4,489	t-CO <sub>2</sub>	付加価値生産額	1,777.60	単位	百万円	
	調整後排出量	4,457	t-CO <sub>2</sub>	原単位	2.53	t-CO <sub>2</sub> /	百万円	寄与度の合計から求めた実績削減率※
30年度	削減率	0.42	%	削減率	5.24	%		
排出量等の増減理由	効率の良い設備稼働と、省エネ諸施策の取り組みにより、排出量及び原単位の改善効果が得られた。							
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	付加価値生産額		単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	54	t-CO <sub>2</sub>			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	380752 LEDの導入 (西3番館)	29~30	5	30	5
2	エネ起	410701 事務所機器の管理	29	16	29	16
3	エネ起	330202 空気調和設備の効率管理	29~30	64		
4	エネ起	380752 LEDの導入 (西1・4番館)	29~31	30	30	30
5	エネ起	310300 計測及び記録の管理	29~31	—		
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	32		41	32	
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4,508	1	4,614	1	4,489		
1,500k1未満								
合計	1	4,508	1	4,614	1	4,489		

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
CH <sub>4</sub>				
N <sub>2</sub> O				
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
NF <sub>3</sub>				
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	6	6	6	
次世代車導入割合				

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	実施なし
その他	実施なし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	立地的にマイカー通勤は不可欠のため、特に対応なし
公共交通機関の利用促進	同上
来客者の交通対策	該当せず
物流の合理化	特に計画なし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO 14001	1995年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物発生量の削減活動（分別の徹底、有価物推進等）</li> <li>・生物多様性保全活動（工場緑化、生態維持等）</li> <li>・クールビズ（冷房時28℃設定）、ウォームビズ（暖房時20℃設定）実施の活動推進</li> </ul>
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物発生量の削減活動（分別の徹底、有価物推進等）</li> <li>・生物多様性保全活動（工場緑化、生態維持等）</li> <li>・クールビズ（冷房時28℃設定）、ウォームビズ（暖房時20℃設定）実施の活動推進</li> </ul>
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物発生量の削減活動（分別の徹底、有価物推進等）</li> <li>・生物多様性保全活動（工場緑化、生態維持等）</li> <li>・クールビズ（冷房時28℃設定）、ウォームビズ（暖房時20℃設定）実施の活動推進</li> </ul>
第三年度実績	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	380752 LEDの導入（照明器具更新） 330299 空気調和設備、換気設備に係るその他の削減対策（空調機更新）	46
その他		